

令和6年度
第19回
磐田市文化協会 総会



JR 磐田駅北口広場

磐田市文化協会

磐田市弥藤太島 500-1 豊田福祉センター 3階
事務局 電話 : 0538-86-3730 FAX : 0538-86-3731
e-mail : iwatabunkyo@aqua.plala.or.jp

第19回磐田市文化協会総会

◇令和6年4月21日(日) 10:00～

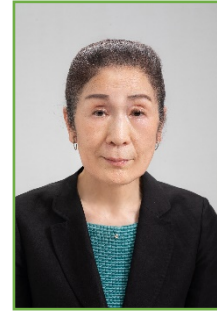
◇市立中央図書館2階 視聴覚ホール

○司会 近藤副会長

○資格確認 事務局

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 開会の言葉 | 近藤副会長 |
| 2 | あいさつ | 桂会長 |
| 3 | 来賓あいさつ | 市長・副議長 |
| 4 | 議事 | |
| | 議案第1号 令和5年度事業報告 | 事務局 |
| | (1) 磐田市芸術祭他 | |
| | (2) ギャラリー、大会議室などの利用状況 | |
| | 議案第2号 令和5年度収支決算報告 | 事務局 |
| | (1) 委託料収支決算 | |
| | (2) 会費・補助金収支決算 | |
| | (3) 記念事業会計決算 | |
| | (4) 会計監査報告 | 監査委員 |
| | 第3号議案 役員の改選について | 事務局 |
| | (1) 役員の改選について | |
| | 議案第4号 規約の一部を改正する規約の制定について | 事務局 |
| | (1) 規約第19条(2)について | |
| | 第5号議案 令和6年度事業計画(案) | |
| | (1) 本年度の活動方針と今後の課題への対応 | 会長 |
| | (2) 各委員会の取り組み重点 | 各担当委員長 |
| | (3) 主要事業一覧・芸術祭について | 事務局 |
| | 第6号議案 令和6年度収支予算(案) | 事務局 |
| | (1) 委託料収支予算 | |
| | (2) 会費・補助金収支予算 | |
| | (3) 記念事業収支予算 | |
| 5 | その他
報告 | |
| 6 | 閉会の言葉 | 井伊副委員長 |
| 7 | 第2部
短歌・俳句講話 「磐田市の歌碑・句碑」を訪ねて
講師 小笠原 小夜子・原田 緑・細川 一郎・村上 尚子 | |

「魅力ある文化協会」を目指して



文化協会会長 桂みさを

会員の皆様には、本協会の諸事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
令和4年度より会長を務めることになり、鈴木顧問のアドバイスをいただき熱心な委員の皆さん、事務局職員の皆さんのご尽力のお陰で務めて来ることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

さて、コロナウィルス感染につきましては、落ち着いたとは言いきれませんでした。各委員の皆さんの創意工夫により、諸事業が推進されました。主要事業であります芸術祭・ジュニアアート展、夏休み子供教室（茶道・いけ花）そして「磐田を描く・撮る・詠む」に迎え花、磐田の土での陶芸、ギャラリートークと呈茶も加わり異分野同士の会員相互交流となり、素晴らしいコラボ展となりました。又、磐田・袋井・森3地区文化協会合同の「ほっと書展」も森町で開催されました。各々の開催会場には多くの来場者があり、感動の声を聞き、感動を共有することも出来ました。同時に今後の課題となる意見もいただきました。又、広報委員の皆さんの創意工夫が盛り込まれています会報「創」につきましては、見やすくなったという市民の方から声をいただきました。全戸回覧を行われるようになり、少しずつでも知っていただけるようになってきていると思います。このように協会の目指すところでもあります。

- ・ 伝統ある芸術文化の継承と発展
- ・ 市民文化の向上への寄与（啓発）

この二つの目的を実現するよう、会員同士の交流により研鑽を積んでいくとともに、市民の皆様にも鑑賞や体験していただく工夫をしながら、その時々状況の中で、知恵をはたらかせ方法を考えて、より深いものになり、次世代へと繁栄されていきますよう、本年も会員の皆様方のご協力のもと、精一杯取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

令和5年度磐田市文化協会事業報告

—磐田市芸術祭—

【公募部門】

部 門	開催会場	開催期日			入場者数			作品出品数		
		自		至	5年度	4年度	増 減	5年度	4年度	増 減
絵画	市立中央図書館	10月5日	～	10月8日	797	750	47	72	72	0
写真	"	10月19日	～	10月22日	601	601	0	65	60	5
書	"	10月12日	～	10月15日	543	495	48	93	92	1
工芸クラフト	"	10月25日	～	10月29日	815	830	-15	107	64	43
短歌・俳句	"	11月16日	～	11月19日	271	311	-40	326	261	65
小計					3,027	2,987	40	663	549	114
ジュニアアート	豊田福祉センター 大会議室	11月11日	～	11月19日	962	977	-15	1,061	1,236	-175
合計					3,989	3,964	25	1,724	1,785	-61

【展示部門】

いけばな	市立中央図書館	11月10日	～	11月12日	507	545	-38	47	45	2
菊花	市立中央図書館	11月2日	～	11月5日	621	574	47	180	165	15
合計					1,128	1,119	9	227	210	17

【舞台発表部門】

舞台 (前期)	磐田市民文化会館(かたりあ)	10月8日(日) 13:00～			371	1,320	-949	15	28	-13
(後期)	磐田市民文化会館(かたりあ)	10月22日(日) 13:00～			750	0	750	13	0	13
合計					1,121	1,320	-199	28	28	0

【芸術祭公募部門審査員】

部 門	氏 名	所 属
絵画	大竹 良夫	星槎大学特任講師
書	平松 千恵子	日展会友
写真	松島 茂雄	一般社団法人 二科会写真部会友
工芸クラフト	島口 直弥	浜松市美術館 学芸員
短歌	丸井 重孝	静岡県歌人協会副会長、日本歌人クラブ会員 「星雲短歌会」同人
俳句	渥美 絹代	俳人協会会員 静岡県俳人協会常任幹事

令和5年度は、コロナ禍もひと段落いたしましたことから、以前の賑わいを取り戻すようにとの思いで活動に臨んだ1年でした。

各方面の協力を得ながら、無事に実施することが出来ました。

夏休み子ども教室につきましては、参加人数の制限をし実施することが出来ました。

また、舞台部門においては、「かたりあ」にて、前期、後期の2部に分け実施し、ユーチューブ配信も致しました。

ギャラリートークを楽しみとされる「磐田を描く・撮る・詠む」につきましては、文化協会のホームページに掲載をいたしました。

広報活動

1) 会報「創」28号の刊行 令和6年1月22日発行 2,200部 (会員用)

6年2月に市の回覧を利用し、「創」を市内全戸に回覧しました。6,700部

2023年芸術祭の様子と各部門での受賞者の紹介

ジュニアアート展入賞者の喜びの声の紹介

自主事業(夏休み子ども教室)の開催状況の紹介

コラボ展の開催の紹介

加盟各団体の活動への参加募集や賛助会員の紹介

生活に溶け込んだアートを掘り起こす「まちなかアート」の紹介

2) ホームページでのイベント情報発信・ユーチューブ配信リンク先掲載

「創」のバックナンバーも掲載するなど、今年度に限らず進化させて参ります。

自主事業

1) いけばなや茶道などの夏休み子ども教室開催を計画し、実施することができました。

参加人数 いけばな教室 20名・茶道教室 32名

2) 毎年好評の「磐田を描く・撮る・詠む」展を開催し、前年度同様呈茶も実施する

事が出来ました。 入場者 434名

その他の活動

- 1) 2/10(土)～2/14(水)まで磐田・袋井・森の三文化協会共同で「ほっと写真展」
を袋井市で開催しました。会場は、袋井市月見の里学遊館 入場者375名

—ギャラリー長藤利用状況—

No.	名 称	分 野	期 間	入場者数
1	浮月さつき会	花季	5月19日～5月21日	199

ギャラリー長藤の利用状況

年度	利用団体	利用日数	利用者(人)
令和5年度	1	3	199
令和4年度	4	20	630
令和3年度	4	72	639
令和2年度	11	122	4,339
令和元年度	11	121	3,557
平成30年度	17	149	4,394
29年度	14	157	4,555
28年度	10	87	2,754

令和5年度 磐田市文化協会主要事業一覧

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
4	6	木	会計監査	10	7	土	舞台設営日（前期）
4	8	土	第1回総務会	10	8	日	舞台公演当日（前期ゲネプロ・公演）
4	13	木	理事会（磐田市民文化会館 創造活動室）	10	12	木	芸術祭 書の部門作品公開（～15日）
4	23	日	総会（市立中央図書館）	10	12	木	ジュニアアート展委員会（名簿点検）
5	6	土	第2回総務会	10	19	木	芸術祭 写真部門作品公開（～22日）
5	8	月	第1回展示施設・総務合同委員会	10	20	金	舞台設営日（後期）
5	11	木	第1回芸術祭公募委員会 年度計画策定	10	21	土	舞台公演ゲネプロ（後期）
5	12	金	第1回自主事業推進委員会 年度計画策定	10	22	日	舞台公演当日（後期）
5	16	火	磐田を描く撮る詠む・子ども教室要項検討 第1回自主事業実行委員会 子どもいけばな教室・茶道教室	10	25	水	芸術祭 工芸・クラフト部門作品公開（～29日）
5	26	金	第1回舞台部門出演団体代表者会	11	2	木	芸術祭 菊花展開開（～5日）
6	3	土	第3回総務会	11	4	土	第7回総務会
6	3	土	第2回展示施設・総務合同委員会	11	10	金	芸術祭 いけばな展開開（～12日）
6	12	月	芸術祭公募展出品要項発送	11	11	土	ジュニアアート展（～19日豊田福祉センター）
6	14	水	第1回ジュニアアート展実行委員会 ジュニアアート展応募依頼の学校訪問	11	15	水	第4回広報委員会
6	14	水	第1回広報委員会	11	16	木	芸術祭 文学部門作品公開（～19日）
6	16	金	静岡県地域文化団体連絡協議会 総会	11	23	木	芸術祭表彰式
6	27	火	第1回自主事業実行委員会 磐田を描く撮る詠む実行委員会	11	23	木	第4回舞台部門出演団体代表者会
6	30	金	「ほっと写真展」第1回実行委員会	12	2	土	第8回総務会
7	8	土	第4回総務会	12	7	木	第2回芸術祭公募展委員会（芸術祭反省）
7	21	金	県文協西部地区第2ブロック連絡会	12	12	火	第2回芸術祭いけばな展委員会反省会
7	28	金	第1回磐田市文化振興委員会	12	13	水	第5回広報委員会『創』初校
8	1	火	県文教第1回広報会議	12	20	水	第6回広報委員会
8	5	土	第3回展示施設・総務合同委員会	12	22	金	第2回自主事業実行委員会 磐田を描く撮る詠む実行委員会（作品仮展示）
8	6	日	子どもいけばな教室	1	6	土	第9回総務会
8	18	金	第2回広報委員会（『創28号』掲載内容検討）	1	6	土	第3回自主事業実行委員会 磐田を描く撮る詠む実行委員会
8	20	日	子ども茶道教室	1	23	火	「ほっと写真展」第2回実行委員会
8	20	日	第2回舞台部門出演団体代表者会議	1	26	金	第6回広報委員会（『28号創』発行・発送作業）
9	2	土	第5回総務会	1	27	土	「磐田を描く・撮る・詠む」公開（～2/4）
9	16	土	舞台部門（前期） 練習日	1	30	火	第4回展示施設設置委員会
9	17	日	舞台部門（後期） 練習日	2	3	土	第10回総務会
9	20	水	第3回広報委員会（掲載内容決定）	2	10	土	「ほっと写真展」袋井市（～14日）
9	22	金	第3回舞台部門出演団体代表者会議	2	20	火	第5回展示施設設置委員会
9	26	火	第1回芸術祭いけばな展委員会	2	22	木	第3回自主事業推進・実行合同委員会（反省会）
9	28	木	ジュニアアート展委員会（作品借用・点検）	3	2	土	第11回総務会
10	5	木	芸術祭 絵画部門作品公開（～8日）	3	12	火	ジュニアアート展委員会（巡回作品返却）
10	5	木	ジュニアアート展委員会（作品審査）	3	15	金	県文協西部地区第2ブロック連絡会
10	7	土	第6回総務会	3			

収入総額 5,035,985 円
 支出総額 5,033,110 円
 差引残額 2,875 円

収入の部(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 委託料	4,700,000	4,750,000	50,000	磐田市芸術祭委託料 4,750,000
2 事業収入	120,000	132,000	12,000	展示出品料1000円×106人 106,000 文学出品料 500円×52人 26,000
3 繰越金	3,972	3,972	0	前年度繰越金
4 雑入	28	13	△15	預金利息等
5 助成金	0	150,000	150,000	公益信託石川博敏記念磐田文化振興基金より
合計	4,824,000	5,035,985	211,985	

支出の部(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 報償費	840,000	906,840	66,840	場内アナウンス謝礼 40,000 ビデオ撮影謝礼 35,000 入賞者副賞 556,840 審査員謝礼 275,000
2 需用費	600,000	738,996	138,996	ポスター・要項・目録等印刷代 446,174 展示作業・当番弁当代 130,267 その他 162,555
3 事務費	350,000	403,044	53,044	事務用品代 192,044 各委員会等会合旅費 211,000
4 賃金	1,300,000	1,318,580	18,580	事務局員芸術祭賃金 1,318,580
5 役務費	1,715,000	1,665,650	△49,350	要項等発送代 106,940 展示設営撤去委託料 208,680 看板作成料 22,000 舞台技術費 1,294,040 傷害保険代 26,180 振込手数料等 7,810
6 予備費	19,000	0	△19,000	
合計	4,824,000	5,033,110	209,110	

※差引残高 2,875 円については次年度会計へ繰り越すものとする。
 上記のとおり報告します。

磐田市文化協会 会長 桂 みさを

令和5年度磐田市文化協会(会費・補助金)収支決算書

収入総額 3,771,503 円
 支出総額 3,766,720 円
 差引残額 4,783 円

収入の部(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 会費	1,040,000	1,250,200	210,200	一般会員 1,200円×879人 1,054,800×100% 高校生以下 200円×287人 57,400×100% 賛助会員 3,000円×46口 138,000×100%
2 補助金	2,400,000	2,400,000	0	磐田市補助金
3 繰越金	25,983	25,983	0	前年度より繰越金
4 分担金	27,000	25,000	△ 2,000	県文協分担金、西部ブロック繰越金分担金
5 雑入	34,017	70,320	36,303	ポスタープリンター・コピー使用料、預金利息等
合計	3,527,000	3,771,503	244,503	

支出の部(単位:円)

事業費

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
1 賃金	900,000	1,318,580	418,580	事務職員 振興事業従事賃金
2 旅費	48,000	0	△ 48,000	実行委員会会合費用弁償
3 需用費	265,000	349,386	84,386	子ども教室 228,493 自主事業材料費等 116,413 ギャラリー長藤使用消耗品 0 総会関係諸経費 4,480 事務用品代 0
4 役務費	130,000	93,304	△ 36,696	子ども教室諸経費 22,880 総会資料等発送経費 34,148 什器備品リース料 9,609 その他 26,667
小計	1,343,000	1,761,270	418,270	

運営費

1 賃金	100,000	233,833	133,833	事務職員会務賃金
2 役員手当	80,000	75,000	△ 5,000	役員11名分 75,000
3 旅費	110,000	89,000	△ 21,000	各委員会会合費用弁償 89,000
4 需用費	860,000	770,498	△ 89,502	『創』第28号発行 590,824 光熱水費使用料 69,497 事務用品代 84,177 その他 26,000
5 役務費	915,000	730,643	△ 184,357	ホームページ管理諸経費 163,680 切手・印紙・はがき代 33,060 NTT回線使用料 130,700 什器備品リース料 142,560 コピー機使用料 83,443 アルソック警備委託 152,680 その他 24,520
6 負担金	100,000	100,476	476	県地域文化団体連絡協議会負担金等
7 予備費	19,000	6,000	△ 13,000	
小計	2,184,000	2,005,450	△ 178,550	
合計	3,527,000	3,766,720	239,720	

※差引残高 4,783 円については次年度会計へ繰り越すものとする。

上記のとおり報告します。

磐田市文化協会 会長 桂 みさを

令和5年度 磐田市文化協会(記念事業)収支決算書

収入総額 2円
 支出総額 2円
 差引残額 0円

[収入の部(単位:円)]

	科 目	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	会 費	116,000	0	△ 116,000	会費収入1,250,200円×0% 0
2	越入れ金	0	0	0	引当金よりの繰入れ金
3	雑 入	0	2	2	預金利子
	計	116,000	2	△ 115,998	

[支出の部(単位:円)]

	科 目	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	旅費	0	0	0	
2	需用費	10,000	0	△ 10,000	記念事務事業調査
3	積立金	106,000	2	△ 105,998	記念事務事業積立金へ
	小計	116,000	2	△ 115,998	

科目間の流用を認める

記念事業引当金積立(円)	211,282
--------------	---------

上記のとおり報告します。

磐田市文化協会 会長 桂 みさを

令和5年度 会計監査報告書

磐田市文化協会会長 桂 みさを 殿

会計監査委員

仲川 勝彦

杉本 洋

令和6年4月8日磐田市文化協会事務局において、令和5年度会計監査を行ったので、その結果を下記のとおり報告します。

記

1. 対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

2. 対象書類

(委託料) (会費・補助金) (記念事業) 各会計

令和5年度収支決算書、預金通帳、出納簿、収入調書、支出調書、領収書類

3. 監査所見

上記の帳簿、関係書類、領収書等一切の監査をした結果、すべて適切に処理されておりますことを認めます。

以上

令和6年度 磐田市文化協会の役員の承認について

	No.	役職名	担当	所属団体名	氏名	
総務会	1	会長	舞台/ジュニア/展示施設	生田流箏曲・三絃桂伸操社中	桂 みさを	再
	2	副会長	広報/公募	遠江歌会	原田 緑	新
	3	副会長	ジュニアアート	磐田市美術協会	近藤 育夫	再
	4	副会長	自主事業	遠州の文化・芸術を楽しむ会「音々彩々」	井伊 貞二	再
	5	広報委員長	広報	磐田市美術協会	寺田 潔	再
	6	公募展委員長	公募	静岡県書道連盟磐田支部	平田 藍水	新
	7	菊花・いけばな展委員長	菊花・いけばな	日本生花司 松月堂古流	鈴木 文恵	再
	8	舞台部門委員長	舞台	Dance platz J	中尾 純子	新
	9	ジュニアアート展委員長	ジュニアアート	磐田市美術協会	大村 重雄	再
	10	自主事業推進委員長	自主事業	文化協会賛助会員	山崎 克巳	再
	11	展示施設設置委員長	展示施設/ジュニア/広報	磐田市美術協会	鈴木 儀治	再
理事會	1	書の部 理事		静岡県書道連盟磐田支部	平田 藍水	再
	2	書の部 理事		抱灘会	大橋 速宏	再
	3	絵画連盟 理事		磐田市美術協会	近藤 育夫	新
	4	写真連盟 理事		磐田市写真連盟	神田 厚	再
	5	工芸連盟 理事		磐田市工芸会	朝倉 慈子	再
	6	短歌の部 理事		遠江歌会	長瀬智恵子	新
	7	俳句の部 理事		ちぐさの会	鈴木 登志子	再
	8	いけばなの部 理事		日本生花司 松月堂古流	鈴木 文恵	再
	9	園芸の部 理事		磐田菊花会	岩淵 勝次	再
	10	合唱の部 理事		ジュニアコーラスふくで	松井 玲子	再
	11	器楽の部 理事		磐田吹奏楽団	加藤 悠祐	再
	12	器楽の部 理事		星野ピアノ教室	星野 雅子	再
	13	洋舞連盟 理事		エスペランサ	小田 真弓	再
	14	洋舞連盟 理事		鈴木直与バレエスタジオ	鈴木 直与	再
	15	箏・三味線・尺八の部 理事		生田流箏曲・三絃 桂伸操社中	桂 みさを	再
	16	詩吟・詩舞の部 理事		日本壮心流剣詩舞道磐田支部	小池 かな江	再
	17	日舞の部 理事		磐田日本舞踊連盟 若菜伊三和社中	若菜 伊三和	再
	18	民踊・民舞連盟 理事		民族衣裳文化普及協会磐田支部	鈴木 すゑ子	再
	19	郷土芸能の部 理事		遠江いずみ會	杉本 洋	再
	20	郷土研究の部 理事		ふるさと豊岡を考える会	佐藤 元則	再
	21	茶道の部 理事		茶道裏千家なでしこ会	岸井 成代	再
監事				磐田市美術協会	仲川 勝彦	再
				遠江いずみ會	杉本 洋	再

以上、令和6年4月12日理事会において規約第23条により承認されたので
規約第21条により総会の承認を求める。

磐田市文化協会 会長 桂みさを

委員会名簿

委員会名	委員長	副委員長	相談役	委 員						
広報委員会	寺田 潔	藤田悦子	原田 緑	鈴木儀治	砂子精一	佐藤元則	鈴木けい子	村上尚子		
芸術祭公募展	平田藍水	朝倉慈子	原田 緑	芹野洋介	鈴木登志子	神田 厚				
芸術祭菊花・いけばな展	鈴木文恵	石橋園美		藤原 健	岩淵勝次	鈴木絹代	鈴木のぶ江			
芸術祭舞台部門	中尾純子	鶴見京子	桂みさを	袴田聡子	鈴木奈津子	杉本 洋	小田真弓	高木善子		
ジュニアアート展	大村重雄	仲川勝彦	近藤育夫	鈴木儀治	桂みさを	鈴木のぶ江	西脇靖子	袴田聡子	清水徹示	
自主事業推進	山崎克巳	本多和行	井伊貞二	佐藤元則	日馬真代	富田夕映				
展示施設設置	鈴木儀治	杉浦幸治		桂みさを	杉山 元	鈴木 修	早瀬 明観	藤原 健	仲川勝彦	

二



寺田 潔



平田 藍水



鈴木 文恵



中尾 純子



大村 重雄



山崎 克巳



鈴木 儀治

議案第 4 号

磐田市文化協会規約の一部を改正する規約の制定について

磐田市文化協会規約第 19 条（2）を次のように改正する。

旧 （2）事務局長は、理事会の承認を得て会長が任命する

新 （2）事務局長は、総務会の承認を得て会長が任命する

以上、規約の改正について承認を求める。

磐田市文化協会 会長 桂 みさを

令和6年度 主要事業計画（案）

磐田市文化協会の役割と概要(今後の取組みのために)

「魅力ある文化協会」の活動をめざして

1 「文化協会とは何か、どんな存在であるべきか」

私たち文化協会は、芸術文化の価値というものを「人々に楽しみや安らぎ、生き甲斐をもたらす貴重な心の栄養であり、人間が人間らしく豊かに生きていくうえで欠くことのできない掛け替えのないもの」と認識し、その継承・発展と寄与（啓発）に努めます。

そこで、本協会は、2つの目的を押さえて企画・運営に取り組んでまいります。

◎ 伝統ある芸術文化の継承と発展

◎ 市民文化の向上への寄与(啓発)

二つの目的を実現するために、会員として意識して取り組みたいことがあり、文化協会の活動というものは、「会員だけが楽しんだり、満足したりするものではなく、より多くの市民の皆さんに親しまれ、共に芸術的な感動を分かち合える活動である」ということです。

所属会員は常に切磋琢磨し合い、それぞれの「力・わざ」を磨き、その成果をもとに市民も納得し、満足する魅力ある芸術文化活動（作品展・舞台発表・講座等）を発信できるよう意識して取り組んでまいります。

この取り組みに賛同する団体と会員数は、令和6年4月1日現在で、加盟団体は82団体、会員数1,074名で活動しております。なお、賛助会員45名となります。

具体的には、次の3つの主要事業を企画・運営を行います。

2 主要事業

(1) 市から委託されている「磐田市芸術祭」の企画・運営（開催）

- ・公募展として、美術部門と文学部門の作品展
- ・ジュニアアート展（市内全小学校・磐田分校の児童を対象）
- ・展示部門として、いけばな展や菊花展の作品展
- ・舞台部門の音楽や舞台といった発表会

(2) 文化協会独自で取り組む事業

- ・協会の活動内容や活動状況を紹介する広報誌「創」の発行とHPの発信
- ・磐田をテーマにした絵画、写真、俳句、短歌、陶芸クラフト作品のコラボ展
- ・茶道の部による呈茶（夏休み子ども教室やコラボ展との共催）
- ・磐田、袋井、森の3協会による広域文化事業への参画（令和6年度、磐田）

(3) 生涯学習の支援活動として取り組んでいる事業

- ・次代を担う子供たちを対象とした「いけばな教室・茶道教室」等の開催
- ・文化協会独自で行う「ギャラリー長藤」の運営（貸し出し事務等）
- ・「学びの師」「学びの庭」への会員の自主登録
- ・芸術文化活動を開催する団体への後援とPR協力
- ・交流センターや地域での文化活動への支援や活動（備品等の貸出）
- ・国分寺祭りやいわた大祭り等への協力

以上、3つの主要事業（活動）を通して会員同士の交流・研鑽を図ると共に市民に芸術活動の醍醐味を味わっていただき、併せて協会の存在感を示していきます。

3 その他（主要事業の外の活動）

- ・幼、小、中、高校生等への支援や協力（特別授業や部活活動等の指導助言）
- ・各種コンテスト等審査の受諾

4 今後の課題

- ・芸術祭の見直しと高齢化対策・・・若年層にも魅力ある芸術祭
小、中、高PR活動
- ・文化協会の諸活動への市民の声を受信、発信する機能強化
アンケート等による意見、要望の集約

各委員会の取り組み重点

【広報委員会】 委員長 寺田 潔

- (1) 創 29 号の発行。創の目的は、市民の文化芸術への興味関心を高めるために文化協会会員や協会のイベントや諸活動に関わった人たちを中心にその活動ぶりを発信する。
そのためには一般市民や小中高生に文化協会の行事やイベントに参加するように積極的に働きかけていく。また会員同士の連携・協力を深めていきたい。
発行にあたっては、誰もが気軽に読めるように文章の簡潔化、文字を大きく、写真を出来るだけ取り入れていく。
個人やグループ・団体の活躍ぶりを取材し紹介する。コロナ禍、中止していた「あの人を訪ねて」はコロナ等の感染状況で判断する。
- (2) 磐田市の文化・芸術の質を高め、広めていきたい。そのためにより多くの市民に文化・芸術のよさや価値を啓発していくためのものをホームページに掲載する。
市内の公共・民間の展示施設やギャラリー等の情報収集をし、必要に応じて訪問し調査する。
- (3) 次世代を担う小・中・高校生等が、文化活動に興味・関心を示すよう、文化協会の諸活動やイベント等への参加を働きかけ、その活動ぶりを発信していく。
「創」や「ホームページ」に小・中学生、高校生の活動の様子を掲載する。

【芸術祭公募展委員会】 委員長 平田藍水

- (1) 各部門が出品者の増加をめざす。そのためには、部門ごとの課題を明確にし、会員内外への参加呼びかけ、幅広い年代への働きかけ等を積極的に行う。また、広報誌、ポスター、募集要項の配布等多様な広報活動を行う。
- (2) 「観に行きたい、行ってよかった」という芸術祭をめざす。そのためには、会員の研鑽はもとより、周囲にも働きかけて作品の向上を図りたい。
- (3) 限られた会場の中で、展示の仕方や設営を工夫し、作品が活かされる会場作りに努める。来場者には作品の説明をするなど、作品の鑑賞が楽しめる会場にする。
- (4) 部門相互が連携し、いけばな部門の迎え花や掛花、工芸部門の花器の提供などを受けて、部門にふさわしい味わいのある展示空間にする。

【芸術祭菊花・いけばな展委員会】 委員長 鈴木文恵

- (1) 菊花・いけばな展は、会場を公募部門と同じく中央図書館とし、会場の特徴を生かした魅力的な展示を行う。
- (2) 公募展に迎え花を、文学の会場に掛け花を置き、会場の雰囲気盛り上げる。
- (3) 舞台部門の会場ロビーに迎え花を展示する。
- (4) いけばな展には市内の高校生や小学生にも出展を依頼し、年齢層の拡大と増員を図る。
- (5) 日本の伝統園芸である菊花の栽培の教室を開くなど啓発に努める

【芸術祭舞台部門委員会】 委員長 中尾純子

- (1) 多くの観客の皆様にご来場いただける魅力ある舞台作りに努める。
- (2) 実行委員を2名増員し、各担当を決め更なる充実を図る。
- (3) 昨年度の経験を活かし、「かたりあ」での機能的かつ充実した活動になるよう皆で協力し準備を進める。
- (4) 互いに尊敬し合い、意見を活発に交わせる雰囲気づくりに努める。

【ジュニアアート展委員会】 委員長 大村重雄

- (1) 「わたしのたいせつなもの」をテーマに、市内の全小学校から多くの応募を促し、子どもたちの制作や表現を賞揚する。
- (2) ジュニアアート展を広く周知し、出品者の家族だけでなく、多くの市民に足を運んでもらえるようにする。
- (3) 優秀作品を希望校に貸し出し、学校の子供たちや職員の皆さんも鑑賞できるようにする。

【自主事業推進委員会】 委員長 山崎克巳

- (1) 子どもたちの豊かな表現を引き出す機会づくりとして、また伝統文化に親しむために「子ども教室」を開催する。
- (2) 会員による磐田を題材にした絵画・短歌などの異分野を横断したコラボ展を開催する。内容については、実行委員会で検討する。

【展示施設設置委員会】 委員長 鈴木儀治

念願であった展示施設については、社会環境の状況から既存の施設をリノベーション（改修）して展示施設とすることになった。

そこで、いくつかの施設を視察し、市担当部局にも加わっていただきながら協議を進めてきた結果、「にこっと」の2階部分を展示施設とすることになった。

そして、令和6年度には、具体的にどのような施設にするかの設計段階に入るため、本委員会は、下記の二つの要望事項を基に市担当部局との協議を深め、文化芸術の拠点ともなり得る展示施設になるよう働きかけていく。

〈要望事項〉

- ① 2つの展示室を設け、その一つは大展示室、もう一つは展示室を必要に応じて3部屋に仕切ることが出来るようにして小作品展をはじめ、子ども教室や講義室、研修室にも使用できるようにすること。
- ② 事務室や倉庫を設置する事。

そのほかの事業への取り組み

令和6年度は、磐田・袋井・森町で共催している合同のイベントを磐田市で行うことになりました。磐田市の中央図書館を会場として、作品を多くの皆様に鑑賞していただき協会相互の交流を図るべく「ほっと絵画展」を開催します。詳細は実行委員会で決定します。

令和6年度 磐田市文化協会主要事業一覧（予定）

月	日	曜	内 容	月	日	曜	内 容
4	6	土	第1回総務会	10	6	日	舞台公演当日（前期ゲネプロ・公演）
4	8	月	会計監査	10	10	木	芸術祭 絵画部門作品公開（～13日）
4	12	金	理事会（豊田福祉センター3階大会議室）	10	10	木	第3回ジュニアアート展委員会（作品審査会）
4	21	日	総会（市立中央図書館）	10	17	木	芸術祭 書の部門作品公開（～20日）
5	10	金	第1回芸術祭公募委員会 年度計画策定	10	17	木	第4回ジュニアアート展委員会（名簿点検）
5	11	土	第2回総務会	10	18	金	舞台設営日（後期）
5	17	金	第1回自主事業推進委員会 年度計画策定 磐田を描く撮る詠む・子ども教室要項検討	10	19	土	舞台公演ゲネプロ（後期）
5	23	木	第1回舞台部門出演団体代表者会	10	20	日	舞台公演当日（後期）
5	30	木	第1回展示施設設置委員会	10	23	水	芸術祭 工芸クラフト部門作品公開（～27日）
5	31	金	第2回芸術祭公募展委員会（要項検討・校正）	10	31	木	芸術祭 菊花部門作品公開（～11/3日）
6	1	土	第3回総務会	11	2	土	第8回総務会
6	10	月	第3回芸術祭公募展委員会募要項発送	11	8	金	芸術祭 いけばな部門作品公開（～10日）
6	12	水	第1回広報委員会	11	13	水	第5回広報委員会（『創29号』掲載内容決定）
6	19	水	第1回ジュニアアート展実行委員会 （ジュニアアート展応募依頼の学校訪問）	11	14	木	芸術祭 写真の部門公開（～17日）
6	20	木	第2回展示施設設置委員会	11	16	土	芸術祭 ジュニアアート展（～24日）
6	21	金	第1回磐田を描く撮る詠む実行委員会	11	20	水	芸術祭 文学部門作品公開（～24日）
6	25	火	県文協西部地区第2ブロック連絡会	11	21	木	第4回舞台部門出演団体代表者会議
7	6	土	第4回総務会	12	7	土	第9回総務会
7	9	火	「ほっと絵画展」第1回実行委員会	12	8	日	芸術祭表彰式
7	29	月	芸術祭 美術各・文学文門作品募集開始	12	10	火	第6回広報委員会（『創29号』初校）
8	3	土	第5回総務会	12	17	火	第4回公募展委員会（芸術祭反省）
8	4	日	子どもいけばな教室	12	18	水	第7回広報委員会（『創29号』2校）
8	6	火	第3回展示施設設置委員会	12	24	火	第2回磐田を描く撮る詠む実行委員会
8	7	水	第2回広報委員会（『創29号』掲載内容検討）	1	7	火	「磐田を描く撮る詠む」架設展示
8	22	木	第2回舞台部門出演団体代表者会議	1	11	土	第10回総務会
8	25	日	子ども茶道教室	1	23	木	第8回広報委員会（『29号創』発行・発送作業）
9	7	土	第6回総務会	1	25	土	「磐田を描く撮る詠む」公開（～2/2日）
9	16	月	舞台部門（前期）照明音響確認リハーサル	2	1	土	第11回総務会
9	18	水	第3回広報委員会（『創29号』掲載内容検討）	2	10	月	「ほっと絵画展」第2回実行委員会
9	23	月	舞台部門（後期）照明音響リハーサル	2	14	金	第2回自主事業推進、実行委員合同委員会
9	24	火	第4回展示施設設置委員会	2	18	火	「ほっと絵画展」第3回実行委員会
9	26	木	第3回舞台部門出演団体代表者会議	2	19	水	「ほっと絵画展」（～23日）
9	26	木	第2回ジュニアアート展委員会（作品借用・点検）	3	1	土	第12回総務会
10	2	水	第4回広報委員会	3	4	火	第5回ジュニアアート展委員会（巡回作品返却）
10	5	土	第7回総務会	3	18	火	第5回展示施設設置委員会
10	5	土	舞台設営日（前期）	3	21	金	県文協西部地区第2ブロック連絡会

令和6年度 芸術祭会場・会期(案)

公募・展示 (中央図書館) 詳細は、応募要領・ポスター・ハガキ等でお知らせします。

	絵画	書	工芸クラフト	菊花	いけばな	写真	文学
設営・搬入	10/8(火)	10/15(火)	10/20(日)	10/29(火)	11/6(水)	11/12(火)	搬入・展示は 11/19(火)
展示・審査	10/9(水)	10/16(水)	10/22(火)	10/30(水)	11/7(木)	11/13(水)	
会期	10/10(木)	10/17(木)	10/23(水)	10/31(木)	11/8(金)	11/14(木)	11/20(水)
会期・搬出	10/13(日)	10/20(日)	10/27(日)	11/3(日)	11/10(日)	11/17(日)	11/24(日)
			10/25(金)休館				11/22(金)休館

月曜：休館 ※開館時間 9:00～18:00(火～金)・9:00～17:00(土、日)

※菊花については、終了時間を17:00、最終日公開終了時間を12:00とする

※いけばな部については、公開時間を 10:00～17:00、最終日公開終了時間を15:00とする

18

展示 (豊田福祉センター大会議室)

表彰式

音楽・舞台 (磐田市民会館かたりあ)

	ジュニアアート
作品借用	9/26(木)
設営・展示	11/15(金)
会期	11/16(土)
会期	11/24(日)
搬出・片付	11/26(火)

12/8(日)
人・ほんの庭 にこっと(2F視聴覚室)
10:00～11:00

	前期	後期
練習	9/16(月)	9/23(月)
設営	10/5(土)	10/18(金)
リハーサル	10/6(日)	10/19(土)
本番	10/6(日)	10/20(日)

豊田福祉センター開館時間 9:00～17:00

※自主事業

夏休み子ども教室

8月4日(日)・8月25日(日) いけばな・お茶 (豊田福祉センター3階大会議室)

磐田を描く撮る詠む

令和7年1月25日(土)～2月2日(日) (豊田福祉センター3階大会議室)

※3文協事業

ほっと絵画展

令和7年2月18日(火)から2月23日(日) (磐田市中心図書館)

令和6年度 磐田市文化協会収支予算書(案)
〈委託料〉

収入総額 4,873,000円
 支出総額 4,873,000円
 差引残額 0円

収入の部(単位:円)

	科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	委託料	4,750,000	4,700,000	4,750,000	50,000	磐田市芸術祭委託料
2	事業収入	120,000	120,000	132,000	0	展示出品料1,000円×90人 90,000 文学出品料 500円×60人 30,000
3	繰越金	2,875	3,972	3,972	△ 1,097	前年度繰越金
4	雑入	125	28	13	97	預金利息等
5	助成金	0	0	150,000	0	
	計	4,873,000	4,824,000	5,035,985	49,000	

支出の部(単位:円)

	科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	報償費	900,000	840,000	906,840	60,000	場内アナウンス等謝礼等 75,000 入賞者副賞 550,000 審査員謝礼 275,000
2	需用費	700,000	600,000	738,996	100,000	ポスター・要項・目録等印刷代 450,000 展示作業・当番弁当代 120,000 その他 130,000
3	事務費	304,000	350,000	403,044	△ 46,000	事務用品 250,000 各委員会会合旅費等 54,000
3	賃金	1,300,000	1,300,000	1,318,580	0	事務局員芸術祭賃金 1,300,000
4	役務費	1,650,000	1,715,000	1,665,650	△ 65,000	要項等発送代 120,000 展示設営・撤去委託料 200,000 看板作成料 22,000 芸術祭照明音響技術費等 1,271,000 傷害保険代 27,000 振込手数料 10,000
5	予備費	19,000	19,000	0	0	
	合 計	4,873,000	4,824,000	5,033,110	49,000	

※ 比較増減は、前年度予算額との対比

科目間の流用を認める

上記のとおり上程いたします。

磐田市文化協会 会長 桂みさを

令和6年度 磐田市文化協会収支予算書(案)
〈会費・補助金〉

収入総額 3,635,000円
 支出総額 3,518,000円
 差引残額 3,518,000円

[収入の部(単位:円)]

	科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	会 費	1,058,000	1,040,000	1,250,200	18,000	会費収入 1,175,000×90% 1,058,000
2	補助金	2,400,000	2,400,000	2,400,000	0	磐田市補助金
3	繰越金	4,783	25,983	25,983	△ 21,200	前年度よりの繰越金
4	分担金	0	27,000	25,000	△ 27,000	
5	雑入	55,217	34,017	70,320	21,200	預金利息、コピー使用料等
	計	3,518,000	3,527,000	3,771,503	△ 9,000	

[支出の部(単位:円)]

事業費

	科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	賃 金	1,183,000	900,000	1,318,580	283,000	事務職員 振興事業従事賃金
2	旅 費	0	48,000	0	△ 48,000	
3	需用費	361,000	265,000	349,386	96,000	子ども教室材料費等 140,000 自主事業材料費等 110,000 ギャラリー長藤使用消耗品 20,000 総会関係諸経費 31,000 事務用品代 60,000
4	役務費	100,000	130,000	93,304	△ 30,000	子ども教室諸経費 20,000 総会資料等発送経費 35,000 什器備品リース料 10,000 ほか 35,000
	小計	1,644,000	1,343,000	1,761,270	301,000	

運営費

1	賃 金	100,000	100,000	233,833	0	事務職員 会務賃金
2	役員手当	75,000	80,000	75,000	△ 5,000	役員報酬
3	旅 費	30,000	110,000	89,000	△ 80,000	県文協総会等
4	需用費	800,000	860,000	770,498	△ 60,000	「創」第29号発行 650,000 光熱水費 75,000 事務用品代等 75,000
5	役務費	750,000	915,000	730,643	△ 165,000	ホームページ管理諸経費 165,000 切手・印紙・ハガキ代 50,000 NTT回線使用料 140,000 什器備品リース料 150,000 コピー機使用料 80,000 アルック警備委託 150,000 その他 15,000
6	負担金	100,000	100,000	100,476	0	県文協・西部ブロック広域事業負担金等
7	予備費	19,000	19,000	6,000	0	
	小計	1,874,000	2,184,000	2,005,450	△ 310,000	
	合 計	3,518,000	3,527,000	3,766,720	△ 9,000	

※ 比較増減は、前年度予算額との対比

科目間の流用を認める

上記のとおり上程いたします。

磐田市文化協会 会長 桂 みさを

令和6年度 磐田市文化協会収支予算書(案)
〈記念事業〉

収入総額 117,000円
 支出総額 117,000円
 差引残額 0円

[収入の部(単位:円)]

	科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	会 費	117,000	106,900	0	10,100	会費収入 1,175,000円×10% 117,000
2	越入れ金	0	0	0	0	積立金よりの繰入れ金
3	雑 入	0	0	2	0	預金利子
	計	117,000	106,900	2	10,100	

[支出の部(単位:円)]

	科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	比較増減	備 考
1	旅費	0	0	0	0	
2	需用費	10,000	10,000	0	0	記念事務事業調査
3	積立金	107,000	106,000	2	1,000	記念事務事業積立
	小計	117,000	116,000	2	1,000	

※ 比較増減は、前年度予算額との対比

科目間の流用を認める

記念事積立金(円)	211,282
-----------	---------

上記のとおり上程いたします。

磐田市文化協会 会長 桂 みさを

会費収入見積 概算		
一般会員	1,200円×826人	991,200円
高校生以下	200円×248人	49,600円
賛助会員	3,000円×45口	135,000円
	計	1,175,800円